

岡山・駅前町1丁目地区再開発

事業者にJV決定

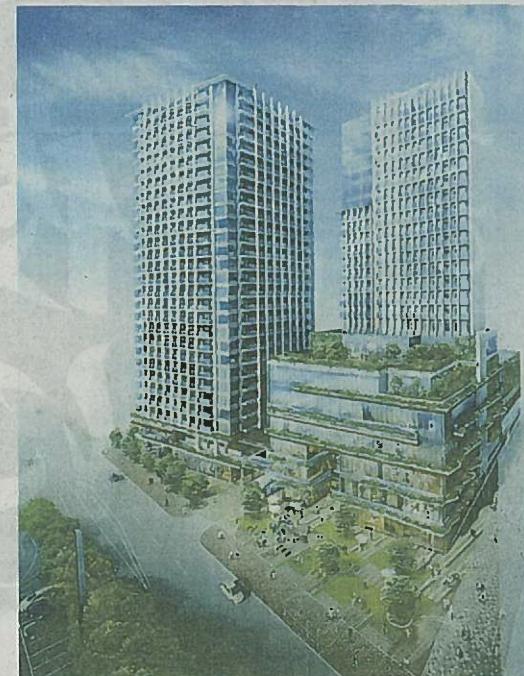
JR西不動産など3社

JR岡山駅東口で計画されている岡山市北区駅前町1丁目地区的再開発事業で、地権者らでつくる再開発準備組合が、核テナントとなるホテル整備を担当するJR西日本不動産開発（兵庫県尼崎市）などの共同企業体（JV）を、開発事業者として正式に決めたことが13日、分かった。

構想では、ホテル棟は24階程度。宿泊中心の高級業態でスイートルームを設けるほか、コンベンション施設も確保する。マンション

準備組合は権利者40人・法人のうち約7割

棟は28階程度。3棟とも低層階に物販や飲食、アミューズメントなどの商業施設が入る。3棟は2階部分をデッキで行き来でき、将来は駅舎と結ぶことも視野に入っている。



岡山市北区駅前町1丁目地区で計画されている再開発事業の完成イメージ図。左がマンション棟、右がホテル棟、右奥が立体駐車場

が加入し、昨年9月に市の都市計画決定を受け、早期の事業化を発足した。今後は岡山駅前町1丁目地区に移行指す。（久岡広和）

予定地は岡山駅前商店街と市役所筋に面し、内定していた。